



140周年を迎える 新体制決まる!!

会長に就任して

同窓吾峰會長



会長を退任して

前同窓吾峰会長
峯 島 和 彦

本会会員の皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

私こと去る五月十八日の評議員会において会長の職を退任させて頂きました。

令和二年一月から続いたコロナ禍により、令和三年五月の評議員会は前年に続いて中止となりました。そのため私は書面で評議員の皆様のご承認を賜り、会長に選出されました。また千葉前会長さん並びに本

A circular portrait of Dr. James W. K. Yau, an elderly man with white hair, wearing a suit and tie.

会長を退任して
前同窓会五峰会
峯島

峯島和彥

本会会員の皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。私こと去る五月十八日の評議員会において会長の職を退任させて頂きました。令和二年一月から続いたコロナ禍により、令和三年五月の評議員会は前年に続いて中止となりました。そのため私は書面で評議員の皆様のご承認を賜り、会長に選出されました。また千葉前会長さん並びに本

部役員が退任される場の設定もできず、後から本部役員が参加して送別会を開催したこと�이出されます。顧みますと、私が同窓吾峰会本部の仕事に携わりましたのは、東日本大震災が発生した平成二十三年から令和六年までの十四年間でした。庶務部（当時）の仕事を中心に新設した事務局次長の職を頂き、平成二十九年からは事務局長として千葉金之助会長さんにお仕えしました。平成二十九年は同窓吾峰会が創立130

周年を迎える記念事業の運営では本部事務局の一員として活動することができます。中でも創立130周年記念誌「吾峰会130年のあゆみ」の発刊に携わり、記念誌編集の大変さと達成感とを味わうことができて貴重な体験となりました。

令和六年度には本会創立140周年(令和九年)の記念版として本会の会員名簿が刊行されました。十年振りの刊行でしたが、本部の皆さんのがそれぞれに創意

工夫し、協力し合つて完成させる場に立ち会うことができました。会員名簿の発行に携わられた皆様に深く感謝申し上げます。

すでにご承知の様に母校福島大学では大規模な大学改編が行われています。私は令和六年度のみ福島大学同窓会（全学同窓会）の会長職を兼任し、大学への要望や大学側の説明会等に参加してきました。必ずしも皆が望む改編の内容ではなくても、私たちの要望に沿った良い結果が得られる

（会報編集委員長）の持地隆一先生が急逝されました。突然の訃報に接し、ただ残念でなりません。これからは本部役員一同力を合わせて活動を続けてまいりたいと思います。先生のご冥福をお祈り申し上げます。終わりになりますが、会員の皆様のご健勝と同窓吾峰会並びに福島大学の益々のご発展を祈念して退任挨拶とさせて頂きます。

年1回の吾峰会大会の中止、コロナによる本部・支部活動の停滞等々、多くの課題を抱えながらの船出となりましたが、会長は副会長を始め、各支部長との連携を図り、無事乗り切られました。

コロナ終息後も、支部活動の活性化、会員減少への対応等、組織強化が重要な課題となりました。様々な

意見を基に、その対策として10年毎に改訂される「会員名簿」の刊行、県外同窓生への会報「吾峰」の購読調査及び発送等を実施しました。

また、並行して20年ぶりの大改修が進行していました。人間発達文化学類から（仮称）教育学部への変更は、教育関係者の多くが好意的に受け止めておりました。峯島会長は「人口減少

社会がもたらす大学再編の
未来を想像しながらの同窓
会運営が課題である」と考
え、同窓会の対応に腐心し
ておられました。このよう
に、吾峰会を牽引してこら
れた峯島会長には、感謝の
念に堪えません。

取り組んでいく必要性を感じております。今年度の吾峰会大会は県南部郡山支部が担当です。大会は支部の独自性を尊重して行われます。テーマは「再会を喜び、親交と絆を深めよう」です。県南部の協力は勿論ですが、各支部の皆様のお力添えで、大会が盛大に行われますことを願つて、挨拶といたします。

第 155 号
福島大学
人間発達文化学類
同窓会 峰会 報

福島大学
人間発達文化学類
同窓吾峰会 会報



令和7年度 評議員会



140周年実行委員会



卒業・入会祝賀会



研究獎勵事業

令和7年度 吾峰会評議員会開催

峯島会長退任で野崎事務局長が新会長に!!

令和7年度の評議員会は、五月十八日(日)に福島

大学人間発達文化学類2階
大會議室で開催された。

北海道、岩手県、愛知支
部や宮城県、福島県の各支

部から58名の評議員が新緑

に包まれた金谷川キャンパ

スに集まつた。

評議員会は、山寺事務局

次長が進行し、峯島会長の

挨拶の後、学類長の牧田実

様から祝辞があり、伊達支

部の松浦常雄支部長を議長

に選出して報告事項・議事

第1回常任理事 理事会開催



監事会



監事會開催

令和7年度第1回常任理事・理事会が四月二十四日(木)に行われた。鈴木昭雄理事長を議長に選出し、令和六年度事業計画等について協議した。組織強化委員会より、支部未加入会員への働きかけを検討したいという報告があつた。また、評議員会の開催について内容や準備の確認をして会を開じた。

は、五月十八日(日)に福島大学人間発達文化学類2階大會議室で開催された。

に入つた。

○今年度の主な事業計画

・吾峰会郡山大会開催
十月十一日(土)

・組織強化委員会開催
研究奨励事業作品募集

・本部締切九月三〇日(火)

・会報発行
155号・156号

・福大ホームカミングデー
卒業・入会祝賀会

・令和八年三月二十五日
(水)

・会則
・諸規定の改正
続いて

○創立140周年記念事業等の議題が審議され、承認された。また、今年度は役員改選の年度にあたり、役員選考委員長より新役員の選考結果の報告があり、承認された。

の年度にあたり、役員選考委員長より新役員の選考結果の報告があり、承認された。



新役員紹介

各支部から活発な意見交換

野崎事務局長から報告



人間発達文化学類長
牧田実

新学類長あいさつ

ることを希望す
る学生向けの
「地域枠入試」も
導入します。

地域との連携

本年4月、人間発達文化学類長に就任しました。福大は改革の真っ只中。本学類は、2年後、教育学部に復帰の予定。私の任務は、教育学部再生までの舵取り役となります。新教育学部でどんな教員を養成するのか。(1)社会・地域に学び、未来を創造する人を育てる教員、(2)主体的・協働的に学び続け、学校教育を支える教員と見定め、「教員養成福島モデル」を構築したいと思つています。具体的には、〈探究〉を軸に据えた5つのコース(地域課題探求、グローバル探究、STEAM教育、教育臨床、インクルーシブ教育)を置き、地域課題探求拠点校での実習や4年間を通しての学校現場での学びによつて「福島ならでは」が厳正に行われた。事業報告の後、一般会計は我彦会両監事により令和六年度一般会計、同特別会計の監査が行われた。事業報告の後、一般会計は我彦会両監事により令和六年度一般会計、同特別会計の監査が行われた。松坂知代子、大堀満広

が認められた。何れの決算についても相違ないことが認められた。

任期は2年。これは私の通した学校現場での学びによつて「福島ならでは」が実現します。教員免許は卒業要件となり、小1種・中2種または中1種・小2種の複数免許取得を基とします。「理科」を復活し、「特別支援」「情報教育」「公認心理師」のチャレンジプログラムを設定します。卒業後、福島県の教員にな

す。県立高校「教育コース」の高校生を対象として、夏休みに「高校生セミナー」を開催しています。3年目となる今年は400人ほどが参加する見込みです。またこれらの高校生を対象に大学の単位の先取り履修も始めています。

一方、今次の改革では大幅な教員数削減が課せられます。「音楽」「美術」免許を断念、附属幼稚園は廃止となり、幼稚園免許か定員をいかに確保し、教員の質を保証し、教員を安定的に輩出していくのかと、いう難題に挑んでいくことになります。

背水の陣で235名の入学定員をいかに確保し、教員の質を保証し、教員を安定的に輩出していくのかと、いう難題に挑んでいくことになります。

大學人としての最後の2年でもあります。最後に振られたこの大役を楽しむくらいの気持ちでまつとうでなければと思ってます。末筆ながら、同窓会のみなさまが理解とご支援をお願いするとともに、みなさまのますますのご健勝とご活躍を祈念し、就任の挨拶とします。

福島支部 会員 1,500名

支部紹介のコーナー

支部だより抜粋紹介 (第28号 令和5年8月9日発行より)

～ああ方丈記ならぬ、我が青春の如月寮～ 三浦光伊(昭51卒)

昭和47年4月から3年間の木造建築の如月寮での学生生活を振り返ってみた。

当時の如月寮は、北寮、南寮、東寮となぜかウエスタン寮と呼ばれる4棟ほどあったと記憶している。寮での生活は、会津生まれの小生にとっては、未知なる体験でうれしさと不安が入り交じっていたことを思い出す。幸いにも、後輩想いの優しかった同室の3年生K先輩、同じボート部のM君、そしてその同室の3年生の何かと声をかけてくれたF先輩、時々遊びに来てくれたボート部で同級のT君など、当時のことは今となっても鮮明に記憶している。

初めてスポーツクラブに所属、ウェイトトレーニングで疲れ、足を引きずりながら寮まで歩くのもやっとだった。部屋に着くなりバタンキューの日々が続いたが、ゴルゴ13的先輩の姿にあこがれ、肉体的・精神的にひ弱な自分もそれなりにたくましくなり、これが青春と充実した時間であった。

寮生活では、心に残っているのが、梅雨時など流しの洗いかけの食器のかげから顔を出す黒いゴキブリ、また掃き掃除時の多数のダンゴならぬ丸いムシがごろごろと転がるといった住環境であった。しかし、やさしい先輩や個性あふれる寮生との共同生活の日々はとても貴重な体験であった。

また、寮生が主体となって企画立案した交流イベントの綱引き大会で競ったことや、電話当番なども印象深い。事務室に詰めて電話対応するのが電話当番だが、その電話を呼び出す時にもひとひねりあって「○○さん、お電話です」とあえて丁寧語での呼び出しの場合は、相手は女性だよ～！と匂わすものだった。それ聞いている寮生達は「ほほう～～」とほくそ笑むといった具合。

大学4年の時に寮を出たが、その直後の如月寮の火災はとても心が痛む出来事であった。今は、素晴らしい古閑裕而記念館や音楽堂が建っているが、近くを通るとよみがえる当時のたたずまいや共同浴場、古びた食堂があったこと、そこに「方丈記」ならぬ我が青春があったこと…。この経験はアパート住まいでは味わえないことだったに違いない。～以下略



支部事務局だより 年2回発行

支部総会 年1回開催



如月寮

郡山支部 会員 930名

支部紹介のコーナー

- 支部会報「纘」ともづな 年2回発行
- 支部総会 年1回開催
- 研修視察旅行実施

支部だより抜粋紹介 (第66号 令和5年3月1日発行より)

秋の行楽シート
が予想されるため、
会津若松駅までに
昼食弁当を済ませ
た。この日のため
に旅行社の桐生さ
んが、お店に特別
に依頼した逸品で
参加者の皆さんか
ら高い評価をいた
だいた。



会津中川～川口



車内は終始この様子
乗車することが出来ホッとした。会津坂下駅では高校生が乗車、この混雑にもう慣れているようだつた。

会津若松駅から
の列車は全員席を確保でき、ほぼ立
ちっぱなしの只見

線疲れを癒すことが出来たであろ
うと自分に言い聞かせた。

駅のそばで手を振る子ども達、
沿線の皆さんの思いが詰まつた只
見線、混まないときに、駅弁・酒・
ビールと一緒に乗りたいものだ。

十月三十一日、郡山駅在来線を行き、郡山駅乗車二十一名の参加者が席を確保し、郡山・富田駅で二名、磐梯熱海駅で三名、総勢二十二名、三年ぶりの研修視察（只見線復旧応援紅葉列車旅）がスタートした。

通勤通学並みの混雑状態で定刻に発車した列車は会津盆地をのんびり走行し、十四時会津坂本駅を発車してからは、山と川を臨む只見線、橋梁の車内案内を聞き、紅葉を眺めながら十五時前、目的



— 平成30年卒、岩間日奈さんからのメールです —

参加者募集中です!



福島大学学士課程改革構想

令和7年4月現在

創立140周年記念事業検討！

第1回実行委員会開催

来る令和十年一月四日に
同窓吾峰会は創立140周
年を迎えます。

令和七年七月十六日に、
第1回実行委員会を開催
し、記念事業の内容を検討

- ②記念誌「吾峰会140年
のあゆみ」を刊行し、全
員へ送付

③会報「吾峰」記念特別号
を刊行し、②と一緒に全
員へ送付

④福島大学へ記念品を贈呈

福島大学教育学部（仮称） 設置構想

入学定員 235名	
【入学時のクラス】	
国語クラス	各クラス 20～45名 程度
英語クラス	
社会科クラス	
国際・数学クラス	
理系クラス	
保健体育クラス	
心理クラス	
> 入学者にクラスを確定	
> 一回の入試はクラスと結び付ける	

令和9年4月
設置検討中

学生募集

- > 福島県教員希望特入試
- > 強みのある学生入試

多様な教員の育成

- > 学士入学 2年プログラム
- > パーフェティチャージ講座
- > 就職生後の心理がわかる教員

教育×未来志向×地域

福島大学教育学部（仮称）

【目指す教員像】

社会・地域で学び、未来を創造する人を育てる教員
主体的に学び続ける、学校教育を支える教員

教員養成福島モデルの構築

他学部との連携

- 理科、高校情報の
科目提供
- 高校農業、高校商業
などの課程への協力

**宮城教育大学
との連携**

- 実習科目の教員を
宮教大で養成
- そぞらの学生たちの
福島での学びを支援

**義務教育学校を「深耕」した
義務教育学校に改革**

■ 定員数の見直し

■ 附属義務教育学校（仮称）設置

■ 「深耕」を柱とした教育活動

持地隆一氏（広報部長・会報編集委員長）の急逝を悼む
温厚な人柄で、吾峰会ばかりでなく、多方面から頼りにされ、重責を担つてきた方でした。いくつもの仕事を掛け持ちながらいつも前向きに真摯に取り組む姿は、私たち編集委員の憧れでもありました。
その委員長ですが、今年の五月に惜しまれながら亡くなられました。ご冥福をお祈りするとともに、残された編集委員一同、故人の思いを大切に会報の編集に携わっていきます。
ご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

番号	支部名	支部長名	副支部長名	事務局	事務局長名	評議員名
24	山形	堀 泰治	矢口 黙	〒992-1443 山形県米沢市大字笛野1101 山形県立米沢興譲館高等学校 ☎ 0238-38-4741 FAX 0238-38-2531	猪俣 幸一	渡辺 俊三 小野 昭夫
25	千葉	活動休止中				
26	新潟	真柄 正幸	山本 武・桐生 春江	〒956-0011 新潟市秋葉区車場2-1-6 ☎ 0250-25-1750	金内敬太郎	真柄 正幸 金内敬太郎
27	愛知	山田 稔	齊藤 俊徳・大高 和人	〒452-0802 名古屋市西区比良4丁目288 ☎ 052-504-2920	盛 浩一	山田 稔 盛 浩一
28	岩手県	佐々木一郎	横田 一平・佐々木秀市	〒023-0401 奥州市胆沢区南都田字本木158 ☎ 090-7795-3911 FAX 0197-46-3911	高橋 佳文	佐々木一郎 高橋 佳文
29	北海道	市澤 豊	菊地 磯夫	〒063-0052 札幌市西区宮の沢二条 1丁目1-35-1102 ☎ 090-6269-7381 FAX 011-667-2165	児玉 佳範	市澤 豊 児玉 佳範

令和7年度 同窓吾峰会本部役員名簿

役職名	氏名
顧問	服部 秀文
	齋藤 正寛
	千葉 金之助
	峯島 和彦
	牧田 実
会長	野崎 修司
副会長	鈴木 隆
	渡部 裕二
	島 義一
監事	大堀 満広
	鈴木 昭夫
常任理事	山寺 精吉
	古関 明善
	勝見 五月
	我彦 武
	内藤 良行
	佐藤 秀雄
	川崎 康宏
	菅野 諭
	山縣 眞二
理事	菅野 和昶
	飯沼 信一
	鈴木 昭雄
	根本 真
	佐藤 和彦
	塚野 薫
	佐々木 義通
	佐藤 陽一
	尾形 慎一郎
	佐藤 秀美
	佐藤 浩哉
	佐藤 浩昭
	鳴川 哲也
	小野 真教
	菅野 浩智

理事	青田 伸一
	遠藤 博晃
幹事	茂木 巧
	菱沼 明美
事務員	梅津 浩子

研究部

役職名	氏名
部長	内藤 良行
副部長	茂木 巧
部員	佐藤 陽一

総務部

役職名	氏名
部長	山寺 精吉
副部長	古関 明善
会長	野崎 修司
部員	勝見 五月
	我彦 武
	内藤 良行
	佐藤 秀雄
	川崎 康宏
	梅津 浩子

広報部 会報編集委員会

役職名	氏名
委員長	佐藤 秀雄
副委員長	寺岡 弘之
委員	鵜沼 秀雅
	内藤 百合子
	小山 智恵子
	工藤 裕也

会計部

役職名	氏名
部長	勝見 五月
副部長	菱沼 明美
部員	塚野 薫

広報部 ホームページ委員会

役職名	氏名
委員長	川崎 康宏
副委員長	馬場 秀之
委員	菅野 諭
	尾形 慎一郎

組織部 組織強化委員会

委員長	我彦 武
副委員長	古関 明善
委員	勝見 五月
	内藤 良行
	佐藤 秀雄
	菅野 和昶
	斎藤 義弘

積立金管理運営委員会

役職名	氏名
委員長	菅野 諭
副委員長	勝見 五月
	会長・事務局長
	事務局次長

令和 7 年度 同窓吾峰会支部組織一覧

(令和 7 年 7 月報告現在)

番号	支部名	支部長名	副支部長名	事務局	事務局長名	評議員名
1	福島	渋谷 朗	高橋 友憲・内藤 良行 福士 久子・高橋 正之 渡部 正晴	〒960-8254 福島市南沢又字柳清水20 福島市立清水小学校 ☎ 024-557-0135 FAX 024-558-4983	穂山 俊之	渋谷 朗 内藤 良行
2	伊達	松浦 常雄	齋藤 徹雄・菅野 善昌 佐藤みゆき	〒960-0629 伊達市保原町弥生町15 伊達市立保原小学校 ☎ 024-575-3281 FAX 024-575-3282	鈴木 昭夫	松浦 常雄 齋藤 徹雄
3	安達	小泉 裕明	菅野眞智子・菊池 勇人 福本 隆・菅野 芳弘 日下部準一	〒964-0904 二本松市郭内一丁目1 二本松市立二本松北小学校 ☎ 0243-23-0029 FAX 0243-23-0012	福本 隆	小泉 裕明 福本 隆
4	郡山	大堀 満広	上杉 辰男・阿部嘉代子 相樂 正人・大木 淳	〒963-8026 郡山市並木四丁目10 郡山市立大島小学校 ☎ 024-933-6761 FAX 024-922-9490	齋藤 博	大堀 満広 武藤 公夫
5	岩瀬	古田 浩	古川 久枝・渡邊 真二 佐浦 雅明	〒962-0059 須賀川市吉美根字土橋680 須賀川市立西袋中学校 ☎ 0248-76-5136 FAX 0248-63-1153	面川 祐哉	古田 浩 渡邊 真二
6	石川	蛭田 重経	富岡ケイ子・館 初浩	〒963-7808 石川郡石川町双里字川向165 石川町立石川中学校 ☎ 0247-26-2315 FAX 0247-26-3036	石沢 泰藏	蛭田 重経 石沢 泰藏
7	田村	山口 洋一	佐久間光春・佐久間金治 菅野 正秀	〒963-7759 田村郡三春町字大町157 三春町立三春小学校 ☎ 0247-62-3101 FAX 0247-62-3106	箭内 良一	山口 洋一 箭内 良一
8	西白河	北林 正紀	佐藤 正弘・野口意千朗	〒961-0914 白河市寺小路64-2 白河市立白河第三小学校 ☎ 0248-23-3243 FAX 0248-24-0296	清野 孝	北林 正紀 野口意千朗
9	東白川	永山 美雄	中島 一枝・矢吹 政徳 吉田 智	〒963-6142 東白川郡棚倉町山際字仙石103 棚倉町立高野小学校 ☎ 0247-35-2005 FAX 0247-35-2010	鈴木 雅人	永山 鈴木 美雄 雅人
10	会津	渡部 裕二	岩沢 隆・齋藤 幸男 橋本千賀子・鈴木 正和	〒965-0875 会津若松市米代一丁目5-33 会津若松市立謹教小学校 ☎ 0242-28-2100 FAX 0242-29-3405	大越 辰哉	渡部 裕二 大越 辰哉
11	耶麻	大堀 淨一	青山 邦夫・矢部 省一	〒966-0806 喜多方市水上6868 喜多方市立第一小学校 ☎ 0241-22-2103 FAX 0241-23-1673	大堀 淨一	大堀 淨一 青山 邦夫
12	大沼	石井 幸雄	佐藤 信寛・北館 長一	〒969-6214 大沼郡会津美里町富川字上中川161-1 会津美里町立宮川小学校 ☎ 0242-54-2222 FAX 0242-54-2277	伊達 明美	石井 佐藤 幸雄 信寛
13	河沼	小林 政昭	山内 聖子	〒969-6553 河沼郡会津坂下町字石田甲650 会津坂下町立坂下南小学校 ☎ 0242-83-2046 FAX 0242-83-0966	大関 貴之	小林 山内 政昭 聖子
14	南会津	五十嵐利明	山本 恭士・大竹 成子	〒967-0004 南会津町田島字会下甲3316 南会津町立田島小学校 ☎ 0241-62-0042 FAX 0241-62-3220	栗木 孝直	五十嵐利明 山本 恭士
15	いわき	金内 三郎	笛川 直樹・沢 宏一 団野 勝一・小野 則夫 平子 宗司	〒970-8026 いわき市平字梅香町7-1 いわき市立平第二小学校 ☎ 0246-23-2413 FAX 0246-23-2414	渡邊 信貴	金内 三郎 渡邊 信貴
16	相馬	草野 正徳	飯塚 宏・村田 権一	〒975-0053 南相馬市原町区益田字塩釜236 南相馬市立太田小学校 ☎ 0244-22-3822 FAX 0244-24-2087	青田 雅子	草野 青田 正徳 雅子
17	双葉	石井 賢一	笠井 淳一・松本 明美 半杭 千歩	〒963-8861 郡山市鶴見坦3-5-6 (臨時事務局 松本事務局長宅) ☎ 090-4314-1933	松本 浩一	石井 松本 賢一 浩一
18	東京	島貫 金雄	荒木 俊夫	〒185-0014 東京都国分寺市東恋ヶ窪2-31-21 ☎ 042-321-2277	島貫 金雄	島貫 金雄 荒木 俊夫
19	仙台	伊藤 宗男	熊谷 和彦・吉田 利弘	〒984-0038 仙台市若林区伊在3-2-1 仙台市立荒井小学校 ☎ 022-352-3202 FAX 022-288-7168	我妻美知子	伊藤 宗男
20	大河原	古積 裕一	大沼 章・森 貢喜 佐藤 俊憲・日下 嘉充	〒989-0232 白石市福岡長袋字向ノ山45-26 ☎ 090-8614-9976	我妻 宏昭	古積 我妻 裕一 宏昭
21	栗原	小野寺俊幸	佐藤 新一・狩野 浩二	〒987-2215 栗原市築館高田二丁目8-1 栗原市立築館中学校 ☎ 0228-22-3146 FAX 0228-22-2387	佐藤 一博	小野寺俊幸 狩野 浩二
22	本吉	内海 輝幸	荒川 進・齋藤 一	〒988-0183 宮城県気仙沼市赤岩泥ノ木13-1 ☎ 0226-22-5748	西城 敏幸	内海 輝幸
23	大崎(旧吉川)	井坂 亨	兵藤 正昭	〒987-0003 宮城県遠田郡美里町南小牛田 字石神53 ☎ 0229-32-3492 FAX 0229-32-3492	佐々木勝男	井坂 亨 佐々木勝男

母校 福島大学・人間発達文化学類だより

卒業・入会祝賀会開催
3/25



初澤学類長あいさつ



卒業生代表あいさつ

大内暢女の



峯島会長あいさつ

私たちの大学生活4年間を振り返りますと、多くの方の支えのおかげで、学びが詰まつた、充実した時間を過ごすことができたと感じております。入学当初はコロナ禍という予測困難で不安な状況の中、様々な方のご尽力のおかげで無事に入学式を迎えることができました。私は4年前に、応用実習や卒論発表会の準備、教員採用試験の対策などが重なり、心身ともに辛い時がありました。しかし、そんなときでも力になつてくれたのは、同じ志を持つて一緒に頑張る仲間の存在でした。毎日悩みを相談し合いながら乗り越えた経験は、今となつては素敵な思い出です。また、ゼミの同期とは、楽しいことも、辛いこと

令和七年三月二十五日ウエディングエルティにて、令和六年度同窓吾峰会主催の卒業・入会祝賀会が開催されました。この会には、卒業のお祝いと、同窓吾峰会の正会員になるお祝いを兼ねて開催されています。卒業生達は、友人や先生方と最後の語らいを楽しみ、たくさん写真を撮り、今後の再会を誓っていました。最後は万歳三唱で、卒業生の新しい船出を応援しました。

私たちの大学生活4年間を振り返りますと、多くの方の支えのおかげで、学びが詰まつた、充実した時間を過ごすことができたと感じております。入学当初はコロナ禍という予測困難で不安な状況の中、様々な方のご尽力のおかげで無事に入学式を迎えることができました。私は4年前に、応用実習や卒論発表会の準備、教員採用試験の対策などが重なり、心身ともに辛い時がありました。しかし、そんなときでも力になつてくれたのは、同じ志を持つて一緒に頑張る仲間の存在でした。毎日悩みを相談し合いながら乗り越えた経験は、今となつては素敵な思い出です。また、ゼミの同期とは、楽しいことも、辛いこと

人間発達文化学類では、「理論」と「実践」を往還しながら課題解決能力や現場で生きる実践力を養うことになりました。また、福島に根差した課外活動やボランティア活動、サークル、部活動、アルバイトなどを通して、机上の学びだけで得られない貴重な経験も多く積むことができました。豊かな自然に恵まれた福島の地で、それぞれが学びを深めた、実りある4年間だったと思います。

そしてこの4年間、常にそばには温かくご指導くださいました。先生方や仲間の存在が大きの時間を割いてご指導いただき、悩みに寄り添つていただきました。先生方には多くの時間で、それぞれの誇りをもつて、それが代えがたい財産です。これから私は、私たちの人生にとって得た知識や経験、出会いは、福島大学で学んだことを胸に、卒業生一人ひとりが、福島大学の卒業生としての誇りをもつて、それを貢献していきます。私は福島県の小学校教員として、福島大学で学んだことを胸に子どもたちとともに成長しながら、地元福島に恩返しできるよう精一杯努めて参る所存です。



先生と一緒にピース



乾杯!!



クラス代表紹介



万歳三唱



いつまでも仲良く



役員の皆様お疲れ様

クラス代表一覧

コース名・分野名	氏名
教育実践	町田 聖馬
心理学・幼児教育(心理学)	阿部 侑里
心理学・幼児教育(幼児教育)	柴田 結衣
特別支援・生活科学	本田 瑞稀
芸術・表現(音楽)	福田 恵央
芸術・表現(美術)	塩澤 紘明
人文科学(国語)	後藤 萌音
人文科学(社会)	織田 智也
人文科学(英語)	大澤 澪奈
数理自然科学	武田 隼
スポーツ健康科学	羽染 太陽

【令和6年度学生表彰者】(敬称略)

団体

- *混声合唱団 第76回全日本合唱コンクール東北支部大会 金賞
- *男子ソフトボール部
第59回全日本大学ソフトボール大会 北海道・東北地区優勝
- *女子硬式テニス部
全日本大学対抗テニス王座決定試合東北地区大会 優勝
- *陸上競技部
男子 第75回東北地区大学体育大会 男子総合 優勝 他
女子 第75回東北地区大学体育大会 女子トラック総合 優勝 他

個人

- *文化、芸術の分野で優れた業績をあげた学生
伊藤 礼香(大学院) 第98回国展彫刻部 千野賞受賞
- *スポーツの分野で優れた業績をあげた学生
小泉 宗士 利根川輝 坂下 想太 藤野 夢 木幡 達香
(陸上競技)
- *優れた学業成績を収めた学生
人間発達文化学類 大内 輝女

令和6年度 学生表彰者一覧

研究奨励事業

安積第一小学校

研究部長 熊田 喜宣

表彰式の開催

令和6年度同窓吾峰会研究奨励事業最優秀賞受賞者

表彰式は、令和七年一月二十九日に開催されました。

今年度は団体七件の応募があり、人間発達文化学類

に設置していただいた審査委員会(数学教育、経済地

理学、彫刻、授業研究、教

育行政学、理科教育学を専

門とする教員六名で構成)

で審査の結果、郡山市立安積第一小学校の応募論文が

最優秀賞に選ばれ、他の六

件は優秀賞との評価をいた

だきました。(別表)

表彰式において、峯島会

長より安積第一小学校鈴木

喜克校長に賞状並びに副賞

が贈呈されました。

表彰に先立ち、審査委員

長の安田俊広教授より審査の経過と結果の報告がありました。

最優秀賞を受賞した安積

第一小学校の研究では、ま

ず、目的を達成するためには、全校的な研究組織を構築し、ぶれない工夫を加えていました。最優秀賞を受賞した安積第一小学校の研究では、ま

ず、目的を達成するためには、全校的な研究組織を構築し、ぶれない工夫を加えていました。最優秀賞を受賞した安積



最優秀賞受賞



研究奨励事業表彰式

の、実践の記録が体系的に整理・蓄積されており、児童の実態と合わせて質的・量的な視点での分析も行われての蓄積された結果は、今後も比較検討に資する

データと判断でき、他校への波及効果が期待できる点が多く最優秀賞と判断しました」との講評をいたしました。

安積第一小学校の研究概要については、本会報の他校臨床支援センター紀要に掲載されます。

なお、優秀賞の六件につきましては、各支部事務局を通して賞状と副賞が贈呈されました。

安積第一小学校の研究概要については、本会報の他校臨床支援センター紀要に掲載されます。

安積第一小学校の研究概要については、本会報の他校臨床支援センター紀要に掲載されます。

安積第一小学校の研究概要については、本会報の他校臨床支援センター紀要に掲載されます。

次いで、初澤学類長より、ICTなどが得意の先生だけでなく全ての教員で取り組んでいる点を特に評価したい。他の先生、他の

学校に波及できるものとなつてているので、大きいに発信し続けて欲しい、との祝辞が寄せられました。

安積第一小学校鈴木喜克

校長から、幅広い年齢層の

教員組織が、タブレットはツールであることを確認の

上、それが必須の時代にど

う実践し、どう子どもに返すかを頭に研究を進めてお

くことをお願いします。

本年度も本事業は継続し

て実施致します。ご不明の

点は本部事務局までお問い合わせ下さい。

本年度の募集について

本年度も本事業は継続し

て実施致します。ご不明の

点は本部事務局までお問い合わせ下さい。



タブレットの活用

最優秀作品の概要

豊かに伝え合い、共に高め合う児童の育成

～思考力・判断力・表現力を高めるための

タブレット端末の活用～

郡山市立安積第一小学校

校長 鈴木 喜克

一、研究主題設定の理由

本校の児童の実態を考えると、学習したことを自分の言葉で表現する力や自分の考えに順序や理由をつけ分かりやすく伝える力、学習したことを新たな問題や生活の中で活用する力に課題が見られた。また、学習への興味・関心や学力に個人差が見られることから、タブレット端末等を活用することとした。

二、実践内容

- ①「共同研究部会」を中心
- に、共同研究を通して全職員で共通理解を図りながら実践を進めた。
- ②原則として毎月現職の研修日を設け、計画的・継続的・継

用して個に応じた指導を進めていく必要があると考えた。社会の在り方が大きく変わり、学校教育の現場でも、GIGAスクール構想の実現による新たなICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められている。誰一人取り残さない

も、GIGAスクール構想の実現による新たなICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められて

いる。誰一人取り残さない

ことでの、今年度の研究を振り返り、次年度の研究につなげた。

三、研究の成果と課題

全校生のアンケートを集計すると、全ての項目において第1回目より第2回目

が下回ることがなかった。これは、児童の学習に対する前向きな姿勢と教師の継続的な授業改善の取り組みにより、意欲をもたせたま

いことでした。「吾峰154号」(10)(11)は私を65年前につれていつくれました。君元気かな。

会員からの便り

角田 文代

「学生が！」つい、なつかしさのあまりペンをとり

3、佐藤徳重さん

(如月寮歌の作者)

私は音楽科指導法を4年生の時になりましたが、雨の降る日の授業、4年生でただ1人出席した私に唯一優をくれた先生です。ほかの4年生は欠席したようですが、オニチの私にとつて、この優は輝いています。

発信↔受信

仲間たちの
「想い」

編集後記

③ 統合的な研究を進めた。
上部会」「調査・資料部会」を設置し、互いの取り組みを関連させながら研究を推進した。

④ 一人一授業の授業実践を行い、スキルアップを図った。ブロックで一授業は全体授業とし、全員で参観・事後研を行った。

⑤ 研究のまとめを作成し、成果と課題を明らかにすることでの、今年度の研究を振り返り、次年度の研究につなげた。

「学生時代の思い出」も投書しましたが、なんと、2

書しましたが、なんと、2

かしこのあまりペンをとり

4、藤棚コーラス

5、仁志田先生

6、福島第一小学校

7、福島第二小学校

8、福島第三小学校

9、福島第四小学校

10、福島第五小学校

11、福島第六小学校

12、福島第七小学校

13、福島第八小学校

14、福島第九小学校

15、福島第十小学校

16、福島第十一小学校

17、福島第十二小学校

18、福島第十三小学校

19、福島第十四小学校

20、福島第十五小学校

21、福島第十六小学校

22、福島第十七小学校

23、福島第十八小学校

24、福島第十九小学校

25、福島第二十小学校

26、福島第二十一小学校

27、福島第二十二小学校

28、福島第二十三小学校

29、福島第二十四小学校

30、福島第二十五小学校

31、福島第二十六小学校

32、福島第二十七小学校

33、福島第二十八小学校

34、福島第二十九小学校

35、福島第三十小学校

36、福島第三十一小学校

37、福島第三十二小学校

38、福島第三十三小学校

39、福島第三十四小学校

40、福島第三十五小学校

41、福島第三十六小学校

42、福島第三十七小学校

43、福島第三十八小学校

44、福島第三十九小学校

45、福島第四十小学校

46、福島第四十一小学校

47、福島第四十二小学校

48、福島第四十三小学校

49、福島第四十四小学校

50、福島第四十五小学校

51、福島第四十六小学校

52、福島第四十七小学校

53、福島第四十八小学校

54、福島第四十九小学校

55、福島第五十小学校

56、福島第五十一小学校

57、福島第五十二小学校

58、福島第五十三小学校

59、福島第五十四小学校

60、福島第五十五小学校

61、福島第五十六小学校

62、福島第五十七小学校

63、福島第五十八小学校

64、福島第五十九小学校

65、福島第六十小学校

66、福島第六十一小学校

67、福島第六十二小学校

68、福島第六十三小学校

69、福島第六十四小学校

70、福島第六十五小学校

71、福島第六十六小学校

72、福島第六十七小学校

73、福島第六十八小学校

74、福島第六十九小学校

75、福島第七十小学校

76、福島第七十一小学校

77、福島第七十二小学校

78、福島第七十三小学校

79、福島第七十四小学校

80、福島第七十五小学校

81、福島第七十六小学校

82、福島第七十七小学校

83、福島第七十八小学校

84、福島第七十九小学校

85、福島第八十小学校

86、福島第八十一小学校

87、福島第八十二小学校

88、福島第八十三小学校

89、福島第八十四小学校

90、福島第八十五小学校

91、福島第八十六小学校

92、福島第八十七小学校

93、福島第八十八小学校

94、福島第八十九小学校

95、福島第九十小学校

96、福島第九十一小学校

97、福島第九十二小学校

98、福島第九十三小学校

99、福島第九十四小学校

100、福島第九十五小学校

101、福島第九十六小学校

102、福島第九十七小学校

103、福島第九十八小学校

104、福島第九十九小学校

105、福島第一百小学校

106、福島第一百一十小学校

107、福島第一百二十小学校

108、福島第一百三十小学校

109、福島第一百四十小学校

110、福島第一百五十小学校

111、福島第一百六十小学校

112、福島第一百七十小学校

113、福島第一百八十小学校

114、福島第一百九十小学校

115、福島第一百二十小学校

116、福島第一百三十小学校

117、福島第一百四十小学校

118、福島第一百五十小学校

119、福島第一百六十小学校

120、福島第一百七十小学校

121、福島第一百八十小学校

122、福島第一百九十小学校

123、福島第一百二十小学校

124、福島第一百三十小学校

125、福島第一百四十小学校

126、福島第一百五十小学校

127、福島第一百六十小学校

128、福島第一百七十小学校

129、福島第一百八十小学校

130、福島第一百九十小学校

131、福島第一百二十小学校

132、福島第一百三十小学校

133、福島第一百四十小学校

134、福島第一百五十小学校

135、福島第一百六十小学校

136、福島第一百七十小学校

137、福島第一百八十小学校

138、福島第一百九十小学校

139、福島第一百二十小学校

140、福島第一百三十小学校

141、福島第一百四十小学校

142、福島第一百五十小学校

143、福島第一百六十小学校

144、福島第一百七十小学校

145、福島第一百八十小学校

146、福島第一百九十小学校

147、福島第一百二十小学校

148、福島第一百三十小学校

149、福島第一百四十小学校

150、福島第一百五十小学校

151、福島第一百六十小学校

152、福島第一百七十小学校

153、福島第一百八十小学校

154、福島第一百九十小学校

155、福島第一百二十小学校

156、福島第一百三十小学校

157、福島第一百四十小学校

158、福島第一百五十小学校

159、福島第一百六十小学校

160、福島第一百七十小学校

161、福島第一百八十小学校

162、福島第一百九十小学校

163、福島第一百二十小学校

164、福島第一百三十小学校

165、福島第一百四十小学校

166、福島第一百五十小学校

167、福島第一百六十小学校

168、福島第一百七十小学校

169、福島第一百八十小学校

170、福島第一百九十小学校

171、福島第一百二十小学校

172、福島第一百三十小学校

173、福島第一百四十小学校

174、福島第一百五十小学校

175、福島第一百六十小学校

176、福島第一百七十小学校

177、福島第一百八十小学校

178、福島第一百九十小学校

179、福島第一百二十小学校

180、福島第一百三十小学校

181、福島第一百四十小学校

182、福島第一百五十小学校

183、福島第一百六十小学校

184、福島第一百七十小学校

185、福島第一百八十小学校

186、福島第一百九十小学校

187、福島第一百二十小学校

188、福島第一百三十小学校

189、福島第一百四十小学校

190、福島第一百五十小学校

191、福島第一百六十小学校

192、福島第一百七十小学校

193、福島第一百八十小学校

194、福島第一百九十小学校

195、福島第一百二十小学校

196、福島第一百三十小学校

197、福島第一百四十小学校

198、福島第一百五十小学校

199、福島第一百六十小学校

200、福島第一百七十小学校

201、福島第一百八十小学校

202、福島第一百九十小学校

203、福島第一百二十小学校

204、福島第一百三十小学校

205、福島第一百四十小学校

206、福島第一百五十小学校

207、福島第一百六十小学校

208、福島第一百七十小学校

209、福島第一百八十小学校

210、福島第一百九十小学校

211、福島第一百二十小学校